

「肺癌に対するラジオ波焼灼療法における局所再発のリスクファクターに関する研究、特に展開型の LeVeen 針の展開径について」へご協力のお願い

ー平成13年6月1日～平成23年8月31日までに当科において肺癌に対するラジオ波焼灼療法を受けられた方へー

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

責任研究者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻腫瘍制御学講座放射線医学分野

教授 金澤 右

分担研究者 岡山大学病院 放射線科 講師 郷原英夫

岡山大学病院 放射線科 講師 平木隆夫

岡山大学病院 放射線科 助教 藤原寛康

岡山大学病院 放射線部 助教 生口俊浩

岡山大学病院 放射線科 医員 松井裕輔

岡山大学病院 放射線科 大学院生 井原弘貴

1. 研究の意義と目的 岡山大学病院において実施された肺悪性腫瘍のラジオ波治療における有効性と再発のリスク因子、特に展開型の LeVeen 針の適切な展開径について明らかにします。この研究結果に基づいて、より良い局所制御を得られるように役立てることができます。

2. 研究の方法

1) 研究対象：平成13年6月1日から平成23年8月31日までに岡山大学病院においてラジオ波焼灼療法で治療された肺がん患者さん488名

2) 研究期間：平成26年5月27日～平成27年3月31日

3) 研究方法：当院にてラジオ波焼灼療法を行った肺がん患者さんにおいてラジオ波焼灼療法の有効性をカルテ情報から評価します。実際には腫瘍が再発したかどうか、局所再発に関与する因子、亡くなったかどうかなどを調べます。

4) 調査票等：研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプラバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、性別、腫瘍の大きさ/種類、肺気腫の有無、血管/気管支に接するかの有無、展開径の大きさなどのデータ

・既往歴、治療歴

・再発の有無、再発までの期間、ご存命かどうかなどのデータ

5) 情報の保護：調査情報はパスワード等で制御されたコンピュータに保存します。今回調査したデータは10年間保存しますが、新たな研究に使用する際には再度倫理委員会の承認とともにご協力のお願いを致します。

なお調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、平成26年9月30日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 放射線科

氏名：郷原英夫

電話：086-235-7315 ファックス：086-235-7316